

生産技術革新部門

福岡県久留米市 ^{ながた}永田 ^{ひろし}弘 氏



- 経営規模：乳用牛 253 頭
6.2ha（水稲 0.2ha、WCS 用稲 6.0 ha）
WCS 用稲作業受託 38.0ha

（注）数字は令和 3 年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 永田氏は、昭和 53 年に父から経営を継承した後、常に新しいことへのチャレンジを心がけており、近年、3D カメラを搭載した搾乳ロボット、ICT を活用した牛群管理システムや自動制御換気システム等の新技术を最大限活用することで、飼養管理の省力化や労働時間の削減、乳量の増加と疾病の減少による経営安定を実現した。
- ・ 所有する 3 農場では、①最新技術を用いた搾乳、堆肥製造、②乾乳期から分娩の一括管理、③肉用子牛の集約管理や飼料生産というように農場ごとの分業体制を確立、それぞれに対応したロボットや ICT 等の新技术を効率的に活用している。
- ・ 搾乳ロボット等から得られる個体データを牛群管理システムで一元管理し、スマートフォン等でリアルタイムに確認可能とすることにより、出先からも的確な指示をすることができ、経験の浅い従業員でも対応可能となった。
- ・ 次世代閉鎖型換気システム（壁一面に設置された換気扇を、牛舎内の環境計測用センサーを使用して自動制御を行う）を用いることで、暑熱期の牛のストレスを軽減し、乳量の低下抑制や繁殖改善にも繋がった。また、常時換気により臭気の低減も図られており、都市近郊での酪農であるが、地域との共生を実現している。